

## 令和元年度第3回岩手県企業局経営評価委員会 議事録

令和2年2月5日(水) 15:00 ~ 16:45

エスポワールいわて 3階特別ホール

## 次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ(藤澤企業局長)
- 3 議事
  - (1) 令和元年度の評価(実績見込)について
  - (2) 次期長期経営方針及び中期経営計画(最終案)について
  - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉会

## 出席者名簿

委員	一関工業高等専門学校 副校長	あかし なおゆき 明石 尚之
〃	岩手県立大学総合政策学部 准教授	いずみ けいこ 泉 桂子
〃	いわて生活協同組合 常務理事	かねこ せいこ 金子 成子
〃	早稲田大学 研究院 准教授	さとう ゆうや 佐藤 裕弥
〃	盛岡ガス株式会社 常務取締役総務部長	まつかわ けん 松川 顕
企業局	局長	ふじさわ あつこ 藤澤 敦子
〃	次長兼経営総務室長	すがわら けんじ 菅原 健司
〃	技師長	ほそかわ ひろもと 細川 普基
〃 (経営総務室)	管理課長	たかはし けいぞう 高橋 啓三
〃	予算経理担当課長	さとう たくや 佐藤 卓也
〃 (業務課)	総括課長	むらかみ としひろ 村上 敏弘
〃	事業担当課長	おの せうお 小野寺 重男
〃	土木・施設担当課長	さとう ひでかず 佐藤 秀和
〃 (施設総合管理所)	施設総合管理所長	ふじわら きよと 藤原 清人
〃 (県南施設管理所)	県南施設管理所長	よしだ きと規 吉田 悟規
事務局	経営総務室 経営企画課長	すがわら かつひろ 菅原 克浩
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	そべ ふみひろ 曾部 文宏
〃	経営総務室 経営企画担当 主査	おぼら じょう 小原 穰
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	いとう ゆういち 伊藤 友一
〃	経営総務室 経営企画担当 主事	おやま かつや 小山 勝矢
〃	業務課 電気担当 主任主査	みお ともあき 三尾 友明

(委員 50 音順 敬称略)

(発言者)

(発言内容)

## 【 1 開 会 】

菅原次長 定刻ですので、ただ今から令和元年度第3回岩手県企業局経営評価委員会を開催いたします。

本日、暫時、進行役を務めさせていただきます、次長の菅原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

岩手県企業局経営評価委員会は、基本的に公開として開催することとしておりますのでご了承をお願いいたします。

なお、本日の傍聴は、マスコミ関係者1名です。

それでは、お手元の次第により、進行して参りたいと存じます。

開会に当たりまして、企業局長の藤澤より御挨拶を申し上げます。

## 【 2 あいさつ 】

藤澤局長 本日はありがとうございます。暖冬の中、やっと冬らしい天気になりましたが、足元の悪い中、皆さん遠路はるばる、また、お忙しいところ御参集いただきまして、重ねて御礼を申し上げます。

今回、3回目の評価委員会ということで、前回の11月の際には上半期の評価を行いましたけれども、本日は、今年度最後の評価委員会ということで、年間の取組を総括することとしております。

今年度は、築川発電所の建設や新浄水場の詳細設計を進めるとともに、新たに稲庭高原風力発電所の再開発に着手しているところです。また、再生可能エネルギーの維持拡大に向け、来年度以降、新たに胆沢第二発電所、入畑発電所の再開発を進めることとしております。

令和2年度からの売電につきましては、地域貢献の一層の推進の観点から、東北電力株式会社様のほか、新たに地域新電力である久慈地域エネルギー株式会社様と売電契約を締結したところです。

さらに、これまで2年間取り組んで参りましたいわて復興パワーによる電力量料金の事業者様の割引につきましては、対象事業者を拡大して継続することとしたほか、クリーンエネルギー導入支援事業につきましては、令和元年度の台風19号災害、あるいは今後発生する大規模災害に係る被災市町村を対象にできるよう、鋭意検討しているところです。

来年度からの長期経営方針と中期経営計画につきましては、皆様から頂いた御意見や令和2年度当初予算の編成状況を踏まえまして、投資財政計画、供給電力量、経常収支比率などの具体的な経営目標や取組目標を追加し、最終案として取りまとめているところです。

委員の皆様におかれましては、様々な視点から、御指導、御意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

菅原次長           それでは議事に入りたいと存じます。以降の議事進行は、評価委員会委員長であります明石委員長にお願いしたいと思います。  
どうぞ、よろしくお願いいたします。

### 【 3 議 事 】

明石委員長           委員長の明石です。よろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。  
本日の内容ですが、「令和元年度の評価（実績見込）」、「次期長期経営方針及び中期経営計画（最終案）」の2件について協議を行います。  
事務局から配布されておりますタイムスケジュールに沿って進めて参りますので、議事進行に御協力をお願いいたします。  
初めに、(1)「令和元年度の評価（実績見込）について」の審議を行いたいと思います。令和元年度の評価ということで、第3四半期までの実績と、今後の見込を併せて「実績見込」という形で、本年度の評価を行いたいと思います。正式な評価については、実績がまとまった来年度当初に行うこととしておりますけれども、今年度中に一旦評価を行いまして、その結果を次年度の取組に反映していただければと思いますので、次年度に向けた年間の総括及び今後の展望などの御審議をお願いしたいと思います。  
それでは早速進めてまいりますけれども、説明と質疑応答は、電気事業、工業用水道事業、共通的事項に分けて行います。それでは「電気事業」について説明をお願いします。

令和元年度の評価（実績見込）について（電気事業部分）  
経営総務室 菅原経営企画課長が下記資料に基づき、令和元年度の評価（実績見込）の電気事業部分について説明。

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 資料1-1 | 令和元年度 評価の総括（実績見込）（案）       |
| 資料1-2 | 令和元年度 経営評価総括表（実績見込）（案）     |
| 資料1-3 | 令和元年度 行動計画取組状況一覧表（実績見込）（案） |

明石委員長           ただいまの説明につきまして、御質問・御意見等はございませんか。

松川委員           2点あります。1点目は、3ページ右上の参考指標、稲庭高原風力発電所の利用可能率が記載されている表で、機器の故障により運転時間の集計ができなかったものとして、第2四半期からアスタリスクで表示されているが、これは、今後、修繕の予定があるのでしょうか。  
2点目は、5ページの仙人発電所において高効率な水車を導入するため、水力発電の導入促進のための事業費補助金を申請して採択となったとありますが、可能性の調査をしているということであって、具体的に水車等の部品を交換したのではないということでしょうか。

藤原施設総合  
管理所長           稲庭高原風力発電所の件について、御説明いたします。  
機器の故障、具体的に申し上げますと遠方監視制御用のパーソナルコンピ

ュータが故障いたしました。古い機械なものですから、最新のものに変えるともものすごくお金がかかってしまいます。あと1~2年で廃止する予定ですので、監視だけはできるように復旧し、運用しているところです。このため、利用可能率が記載されている表については、運転終了までアスタリスク表示となるものです。

村上業務課総括課長 仙人発電所の機器の効率化についてですが、今年は、水車の流体解析を行い、いかに効率の良い水車にするかという調査を行いました。水車発電機分解点検補修工事に合わせて水車の入替をしたいと考えており、それまでに水車を設計して製作する予定としております。

泉委員 設計や調査の補助金ということですか。

村上業務課総括課長 そのとおりです。発電電力量や出力がアップすることが期待できる設計に対して国が支援するというものです。

明石委員長 そのほかございますか。

金子委員 6ページの新規開発の取組について、胆沢第二及び入畑発電所の再開発に向けての関係機関などへの概要説明を行ったとのことですが、それに対しての地元自治体や関係機関の反応はどうだったのでしょうか。

村上業務課総括課長 奥州市にある胆沢第二発電所については、一部が農業側との共有資産になっているということで、概要の説明を行いました。発電機と主要な電気設備の交換、鉄管の塗替えというところを予定しておりますので、その点につきましては、特に異存等はございませんでした。

ただ、農業側の取水口や導水路トンネルの一部が共有施設となっていますので、改修方法等については、今後、関係機関と調整して進めていきたいと考えております。

北上市の入畑ダム直下にある入畑発電所については、企業局の単独施設となっておりますが、地元の方や関係機関に御説明したところ、特に異存はございませんでした。

明石委員長 そのほかございますか。

泉委員 2ページ目の右側にある電源接続案件募集プロセスについて、優先検討連系希望者の辞退とありますが、具体的にどういったことでしょうか。

村上業務課総括課長 電源接続案件募集プロセスについてですが、接続を希望する人々が全員で送電線整備の費用を負担するという仕組みなのですが、入札して落札できたけれども辞退するということになるとうと1事業者当たりの負担額が変わると

いうことになります。当初はもっと早く終わる予定だったのですが、辞退者がでたため、完了が遅れたということです。

泉委員 企業局への影響はないということでよろしいのでしょうか。

村上業務課総 制度全体の動きであり、企業局への影響はございません。

括課長

明石委員長 その他ございますか。

なければ、工業用水道事業について説明をお願いします。

令和元年度の評価（実績見込）について（工業用水道事業部分）  
経営総務室 菅原経営企画課長が下記資料に基づき、令和元年度の評価（実績見込）  
の工業用水道部分について説明。

資料1-1 令和元年度 評価の総括（実績見込）（案）

資料1-2 令和元年度 経営評価総括表（実績見込）（案）

資料1-3 令和元年度 行動計画取組状況一覧表（実績見込）（案）

明石委員長 ただ今の説明につきまして、御質問、御意見はございませんか。

泉委員 7ページの参考指標で、年間件数が0.3件とあるのは、3年に1回程度を目安とするという考え方でよろしいのでしょうか。

菅原経営企画 年間件数については、過去の実績を踏まえた平均値です。このため、整数  
課長 ではなく、小数点のある数字となっているところです。

佐藤委員 8ページの新たな水需要への対応についての進捗状況を伺います。

同じく今後の課題・取組において、引き続き関係機関と緊密に連携しながら取組を進めていくということで、関係機関との調整ということが今後の進捗に影響を与える可能性もあると思いますので、ここについての状況をお聞かせいただければと思います。

小野寺事業担 新浄水場建設の現在の進捗状況ですが、概ね予定どおり進んでいるという  
当課長 状況です。詳細設計を終え、今後具体的な工事等の契約をしながら進めていくということにしております。

関係機関との協議ということですが、国等の関係機関と順調に調整を進めている状況です。

佐藤委員 ここについては、スケジュールに影響すると思いますので、しっかりと進めていただければと思います。

明石委員長 そのほかございますか。

それでは、共通的事項に移りたいと思います。

令和元年度の評価（実績見込）について（共通的事項部分）

経営総務室 菅原経営企画課長が下記資料に基づき、令和元年度の評価（実績見込）の共通的事項部分について説明。

資料1-1 令和元年度 評価の総括（実績見込）（案）

資料1-2 令和元年度 経営評価総括表（実績見込）（案）

資料1-3 令和元年度 行動計画取組状況一覧表（実績見込）（案）

明石委員長 　　ただ今の説明につきまして、御質問、御意見はございませんか。

泉委員 　　10 ページの発電所の再開発に伴う組織体制の強化というのは、具体的にどのようなことを予定されているのでしょうか。

菅原次長 　　再開発の組織強化ということですが、当面の業務として、発電機部分の詳細設計を行い、発注をすることにより、固定価格買取制度の価格の認定を急いで取らなければならないということがございます。来年度につきましては、本庁の業務課の中に再開発を推進する専門のセクションを配置して、概ね4人体制くらいになるかと思いますが、そういう体制でしっかりと進めて参りたいと考えております。

明石委員長 　　そのほかございますか。

松川委員 　　10 ページの積極的なリクルート活動を進めるに当たり、実際にその場でお互いに話ができるので、就職説明会が有効であると思いますが、就職説明会などには参加しているのでしょうか。

高橋管理課長 　　企業局におきましても、県全体で企画する就職説明会や、岩手大学の説明会にも参加して説明をする予定としております。そういった機会を通じて、有効にリクルート活動をしていきたいと考えております。

松川委員 　　私も採用担当者に聞いたところ、就職説明会など、担当者が受験者と会う機会を増やすと、だんだん内定辞退をしにくくなるということも言っておりましたので、内定辞退への対応は難しいところではありますが、積極的な活動をお願いいたします。

佐藤委員 　　実際に、辞退者は他の自治体、公務員に流れているのか、あるいは民間に流れているのか、辞退者の状況について、もう少し説明をお願いいたします。  
それから、県土整備部との緊密な連携について、今の時点でどういうことが予定されているのかについて伺います。

高橋管理課長 　　まず、内定辞退の状況ですが、公務員の場合、国家公務員や市町村職員との競合があり、地元志向により市町村に行くという状況があります。

県土整備部との緊密な連携についてですが、土木施設の維持については、ある程度企業局の状況を知っている職員を確保するといったところで、土木職を所管している県土整備部と十分な連携をして人員を確保していきたいと思えます。

今は、沿岸部に、水門等の施設を作るために、逆に企業局から県土整備部に10人ほど職員を派遣しております。限られた人員をうまく配置していかなければならないという状況ですので、連携を取りながら進めていきたいと考えております。

佐藤委員

内定者の辞退というのは、今後、将来にわたっての企業局の経営資源が失われてしまう、確保できないというような事態に繋がりにかぬないことで、しっかりと対応してほしいと要望します。

例として、鳥取県企業局の電気事業会計がコンセッションを検討しなければいけなくなった事情ですが、経営改革の途上で職員の確保を抑制した、あるいは補充しなかったということで、電気事業を継続したいという意欲と方向性が確認できた時には、既にそれを担う人材がもはや中にいないので、最終的な判断として外部に力を求めるしかなかったということです。このような事例が既にありますので、特に人材問題というのは、注意して御対応いただければと思えます。

9ページの企業局施設カードは、今年度から実施した新規事業ということなので、しっかりとした評価と今後の見極めをお願いしたいと思えます。特に、企業局のみならず、国のダム管理事務所等との連携ということで、一部の方々かもしれませんが、ダムカードの収集という形で、こうした分野は注目を集めているようです。

企業局施設カードに対する評価や反応について、今の時点で把握している状況について教えていただければと思えます。

菅原経営企画  
課長

ダムカードを配布している国のダムや県のダムといったところで、企業局施設カードの配布枚数が多いという傾向がみられますので、ダムカードに引張られて、枚数が伸びたのではないかと分析をしているところです。

各施設で写真を撮っていただく条件でカードを配るということにしておりますが、今、冬期間でいけない場所もありますので、春までの期間はお休みとすることをホームページで御案内をさせていただいているところがございます。今後、様々な反響が出てくると思えますので、実際に収集されている方々の声をまとめて、検討を進めて参りたいと考えております。

佐藤委員

新規事業ですので、まだまだ評価は難しいとは思いますが、今後、一定の期間をみて、しっかりとした評価、そしてこれ自体が企業局の事業構造の見直しに抜本的に関わる話ではないとは思いますが、一方で、企業局の事業内容を知ってもらう非常に有効な手段でもあると思えますので、ぜひと

も、しっかりとフォローアップをお願いしたいと思います。

明石委員長 そのほかございますか。

以上で一通りの審議を行いました。御質問、御要望がございましたけれども、修正や加筆は必要ないかなと考えておりますが、それでよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

明石委員長 それでは、令和元年度の評価（実績見込）につきましては、事務局案のとおりとしたいと思います。

続きまして、(2)「次期長期経営方針及び中期経営計画（最終案）について」説明をお願いいたします。

#### 次期長期経営方針及び中期経営計画（最終案）について

経営総務室 菅原経営企画課長が下記資料に基づき、次期長期経営方針及び中期経営計画（最終案）について説明。

- 資料2 次期長期経営方針及び中期経営計画（最終案）について
- 資料2-1 パブリック・コメントにおける意見等
- 資料2-2 岩手県企業局長期経営方針(2020~2029)（概要版）（最終案）
- 資料2-3 岩手県企業局長期経営方針(2020~2029)第1期中期経営計画（概要版）（最終案）
- 資料2-4 次期長期経営方針（素案→最終案）新旧対照表
- 資料2-5 次期中期経営計画（素案→最終案）新旧対照表
- 資料2-6 岩手県企業局長期経営方針(2020~2029)（最終案）
- 資料2-7 岩手県企業局長期経営方針(2020~2029)第1期中期経営計画（最終案）

明石委員長 ただ今の説明につきまして、御質問、御意見等はございませんか。

佐藤委員 先ほど御説明いただいたとおり、資料2-4で、気候変動の概念が追加されたということで、前回の委員会の意見を踏まえ、しっかりと反映していただいたところであり、ぜひこのように進めてほしいと思います。

また、資料2-6の17ページにある、工業用水道事業の収支計画について、令和5年度から赤字になるということですが、その要因は減価償却であり、資金繰り上も大きな問題はないため懸念はしておりませんが、公営企業会計で赤字決算ということになると、議会や県民の皆さんから色々と意見や要望が出てくると思いますので、この点については、しっかりと説明ができるように、事務局として準備をお願いしたいと思います。過去に岩手県の工業用水道事業は赤字で苦しんでいた時期が長くありましたので、当時の状況と同じような状況だと理解されると、判断を誤られる方が増えるかもしれませんので、留意点としてお伝えします。



藤澤局長 令和5年度から赤字決算ということで、印象が悪い形になってしまいますが、大手半導体企業の使用量が計画的に増えることによって、赤字が将来的に解消されるということ、予算や決算の際に、議会等に対して十分説明して参りたいと考えております。

明石委員長 ほかにございませんか。

金子委員 前回発言した部分について、盛り込まれていることを評価したいと思いますし、全体的な計画としても、きちんと作られていると思います。

11 ページの電気事業の収支計画の附帯事業費用について、減価償却費と並ぶくらい大きな費用になっているようなのですが、具体的にどういう費用なのでしょう。

佐藤予算経理担当課長 附帯事業費用は、風力と太陽光の人件費や委託費、減価償却費などの費用をまとめたものです。

附帯事業費用の上に記載されている人件費や修繕費などは、水力に係るものみの費用となっています。

細川技師長 元々、電気事業は、水力発電でスタートしております。当時は総括原価主義という中で、予算でも総括原価が見える形が求められておりました。

そういった中で、時代が変わりまして、新たな発電に取り組もうということで、風力や太陽光を取り入れたのですが、その際、水力については総括原価主義のもとで個別の契約をしておりましたので、予算においてもきちんと分離する必要があるだろうという視点から、総務省から、新しく始めた太陽光、風力については附帯事業として整理すべきとの見解が示されていたため、このような整理をしているところです。

明石委員長 よろしいでしょうか。そのほかございませんか。

松川委員 今のお話はガス事業も同じです。本業は都市ガスということで、その他は附帯事業ということで分けております。

当社も同じような事情があって、減価償却費が膨らむことによってマイナスが増えますが、借入れの資料を作るときには、減価償却前の資料も作っております。すでに準備されているかもしれませんが、特別な設備がかかったことにより減価償却費が膨らんだということを表すために、減価償却前の収支というものも準備した方が良いのではないかなと思います。

菅原次長 貴重な御意見ありがとうございました。示している資料につきましては、当然、減価償却費も示して公表しているところですが、御意見も踏まえまし

て、減価償却費を除いた部分の状況はどうなのかというところについて、内部で検討する際に使わせていただきたいと思います。

明石委員長

その他、ございますか。

それでは、各委員から出されました御意見を参考に、説明等工夫できる場所がございましたら、検討をお願いしたいと思います。

それでは、(4)「その他」についてですが、何かございませんか。

全体を通してでも構いません。

松川委員

長期も中期も同じなのですが、タイトルが西暦で2020~2029となっており、本文では西暦表記がなくなって、令和で表記されているのですが、何か理由があるのでしょうか。

菅原次長

タイトルにつきましては、いわて県民計画が、「いわて県民計画(2019~2028)」となっており、同じ10年間の計画であるということで、合わせて2020~2029というタイトルとさせていただいたところです。

行政では、令和や平成という用語を一般的に使っているところですので、中身につきましては、そのような表記にしておりますが、御意見を踏まえ、最後の検討の段階で、どのように表記をすればいいのかについて検討させていただきます。

明石委員長

その他ございますか。

なければ本日予定した議題は以上です。その他、事務局から何かあればお願いします。

事務局

本日の議事録は、後ほどホームページで公表する予定にしておりますので、事前に照会した上で、公表させていただきたいと思っております。

なお、今年度の経営評価委員会は今日で最終日となり、次回の委員会は、7月に開催する予定としておりますが、具体的な日時につきましては、後ほどご連絡いたします。

明石委員長

これで、事務局が用意した議事はすべてとなります。

議事進行に御協力いただきまして、ありがとうございました。

残りの進行については、事務局のほうにお返ししたいと思います。

菅原次長

本日は長時間にわたりまして御審議していただき、貴重な御意見、御助言を賜り、誠にありがとうございました。いただきました御意見等につきましては、参考とさせていただきながら、今後の業務運営に生かして参りたいと思います。

閉会にあたりまして、局長から一言御礼を申し上げます。

藤澤局長

皆様からの御提言をいただきまして、今回、次期長期経営方針あるいは中期経営計画をまとめることができました。ありがとうございました。

また、今日御意見をいただきました新採用職員の確保ということですが、最近、公務員の希望者につきましても、競争率が落ちてきおります。一方で、県内就職率は高校、大学ともに少しずつ増えておりますので、企業局としては、地元あるいは県内の学生を確保しなければならないという危機感を持っておりますので、様々な機会を通じて、学生の確保というのを今後とも取り組んで参りたいと思います。

本日は、貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。

菅原次長

それでは、これもちまして令和元年度第3回岩手県企業局経営評価委員会を終了いたします。

本日はありがとうございました。